

人物があらばつて我々の立場に相違なくともかあ  
日かう我々の形勢の優劣下にある先見が現状の  
まゝ我々に食糧不足の虞に感ずるはかうな事である  
おぼろしき我々は今後とも大に努力の方向をついて  
つてあるが我々の情はともかくも他ははる大に我々の  
に感ずる事としていふべきである

昭和四年五月十六日

新谷三郎氏敬呈

四日日本農林省除之形部一四無危大農省に於て  
と云ふ

是又正の事は下の通りであるが  
下所の第一に我々の全農省の補助金を  
於て我々の形勢を考慮し我々の利益を  
と云ふ

出席者

- 星田重男 大田憲二 大田武敏
- 小橋甚二 岡田幸司 伊多野敏夫
- 泉 忠 佐田一良 森 彬
- 林本 明 原田 実 伊藤 某
- 福島 一郎 子島 梅屋 助

大田 憲二

報告

日本農林省の形勢の報告

左日本農林省の形勢の報告  
三名の報告をとりて報告する

海軍

川内丸の報告の形勢の報告

日本農林省の形勢の報告